

科目名	京都文化論						
英語科目		ナンバリング	Ccul102 CKcul101				
開講期	春学期	開講学部等	文化学部	配当年次	1年次	単位数	2単位
教員名	吉澤 健吉						

授業概要／Course outline

グローバル化社会で日本人が諸外国と対等にコミュニケーションするには、自国の文化への理解が欠かせません。幸い、本学が立地する京都市は、1200年の歴史と伝統を誇る日本文化の中心地であり、生きた文化コンテンツの宝庫でもあります。

また、京都市は古いだけでなく、祭りや宗教行事、茶の湯、生け花といった日本の古きよき伝統を守りながら、中国・西洋からその時代の新しいものも積極的に取り入れ、活性化してきた進取の気風のある街でもあります。

本講義は、京都新聞記者としての長年の経験を生かし、西洋文化との比較文化論的視点を採り入れながら、京都文化の特質とその奥深さを、ファジー、未完の美、精神性の追究、持続する知恵という4つのキーワードから総合的にわかりやすく考察する京都市入門です。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1. はじめに

・東京生まれの吉澤が哲学者梅原猛氏の著書と本人との出会いをきっかけに京都に来たいきさつ、初めて接した京都文化への感動、ジャーナリストからみた京都の魅力について講義します。

2. 権威の都としての京都

・京都文化の全体像を理解するのに必要な京都の「権威」について、天皇・公家、伝統仏教の本山、伝統文化の家元、大学の4つを取り上げ、京都学を学ぶ上での基礎知識を解説します。

3. 不易流行の都としての京都

・歴史的に伝統を守りながらも、たえず時代の先端の技術・文化を採り入れ活性化してきた京都の特徴について、島津製作所、任天堂など伝統産業から起業した企業の苦難の歴史を例に解説します。

4. 京都文化の特色①～ファジー

・京都文化の特徴の代表であるファジーについて、京ことば、縁側、庭園、障子などを例に、正反対の西洋文化と比較しながら具体的に解説します。

5. 京都文化の特色②～未完の美

・京都文化の2番目の特徴である未完の美について、水墨画、いけばな、茶碗などを例に、そこに秘められたわび、さびなど日本美の思想についてふれます。

6. 京都文化の特色③～精神性の追究

・日本文化の第3の特徴である精神性の追究について、欧米のスポーツ・趣味との違いを、茶道、華道を例に趣味を人間性の向上にまで高める日本人の心性について解説します。

7. 京都文化の特色④～持続する知恵

・京都文化の4番目の特徴である持続する知恵について、400年続いてきた千家を例に親戚同士での養子のやりくりや種馬家系からの養子送り込みなどの知恵を解説します。

8. 伝統文化の諸相①～仏教と修行

・京都の伝統仏教の各本山で行われている厳しい修行のうち、最も厳しいとされる比叡山の千日回峰行について、動画をまじえながらそのすさまじさと、行に込められた思想について解説します。

9. 伝統文化の諸相②～祇園祭と山鉾町の変遷

・京都を代表する祇園祭の基礎知識と、近代以降行われてきた巡行路の変更や焼山の復活について解説し、一歩踏み込んだ祇園祭の知識を深めてもらいます。

10. 伝統文化の諸相③～伝統行事と現代

・京都には古くから伝わる数々の伝統行事がありますが、その中でもお盆の精霊を浄土に送る大文字五山の送り火を取り上げ、東日本大震災で被災地の松を護摩木に使用するかどうかでもめた騒動をきっかけに、五山の送り火の歴史と各文字の由来や点火に伴う宗教行事について解説します。

11. 伝統文化の諸相④～花街ともてなし

・一見さんお断りの京都花街では、接客以外に舞妓、芸妓の厳しい修行も行われています。花街の歴史とシステム、

年中行事についてわかりやすく解き明かします。

1 2. 伝統文化の諸相⑤～和食と無形文化遺産

・和食が無形文化遺産に登録されたのを機に、和食の代表格である京会席の魅力と、無形遺産登録に貢献した日本料理アカデミーの活動について解説します。

1 3. 茶道、華道と家元制度の将来

・明治以降、とりわけ第二次大戦後の生活の洋風化に伴い、社中減少の危機に見舞われている伝統文化の世界について、家元制度はこれからどうなっていくのかについて展望します。

1 4. 伝統文化の革新と課題

・京都の伝統文化・産業はたえず時代の新しい息吹を採り入れながら発展してきた。現代における茶道の革新者などを例に、現代に伝統文化をどう生かすかについて解説します。

1 5. 世界の中の京都文化

・クールジャパンなどで日本文化はさまざま点で世界から注目されています。世界の人々は京都文化のどこに注目しているのか、京都文化を世界に発信するには何が必要かについて講義します。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

事前学習：この授業では毎回、京都文化の基本的なキーワードについて講義するので、受講する前に、各講義のテーマに関連した事項について、書籍や新聞、ネットなどを通じて、基本的なことを自習したうえで授業にのぞんでください。

事後学習：講義で学んだ京都文化の現場を訪ね、肌で実感してください。学んだ知識を体験として身につけることが重要です。

授業の到達目標／Expected outcome

世界遺産としての神社・仏閣、茶の湯・いけばななど日本を代表する伝統文化と、京都三大祭りや大文字五山の送り火などの年中行事といった京都文化の基本を身に付け、それを支える深い宗教性も理解し、京都文化を国内と海外に発信できる能力を養うことを目標とします。

身に付く力／Special abilities to be attained

論理的思考力（課題発見力、論理的分析力、総合的判断力）
コミュニケーションスキル（状況把握力、傾聴力、発信力）
態度・志向性（生涯学習力）

履修上の注意／Special notes, cautions

この授業は原則、1回目の講義に出席しなかった学生の受講登録は認めません。また、授業中のスマホ使用やおしゃべりは他の学生の迷惑となるため厳禁とし、守らない学生は退出してもらうか、減点の対象にします。

評価方法／Evaluation

定期試験（筆記試験）60%、授業で課すレポート（1回）20%、平常点（授業への参加度合い）20%

教材／Text and materials

＜参考図書＞

- 『はじめての茶の湯』千宗左（主婦の友社）
- 『はじめての池坊いけばな入門』池坊専永監修（講談社）
- 『京のたしなみ 和のもてなし』後藤加寿子、西村明美、平野顕子（主婦の友社）
- 『図説 茶室の歴史—基礎がわかるQ&A』中村昌生（淡交社、1998年）
- 『植治七代目小川治兵衛—手を加えた自然にこそ自然がある』白幡洋三郎監修（京都通信社、2008年）
- 『技を継ぐ 21世紀の匠たち』京都新聞社編（京都新聞社、2001年）
- 『世界へはばたく 京都元気企業 独創の軌跡』京都新聞社編（京都新聞社、2003年）
- 『おこしやす 京の女将さん』京都新聞社編（京都新聞社、2001年）
- 『京都事典』村井康彦編（東京堂出版、1993年）
- 『やさしい精進料理：こころもからだもきれいになる』西川玄房（淡交社）
- 『京都・瓢亭 四季の日本料理』高橋英一、義弘（NHK出版）
- 『しあわせを味わう 京のうちごはん』大原千鶴（PHP研究所）
- 『菓子司・末富「京菓子の世界」』山口富蔵（世界文化社）